

— 地震・台風に備えて…防災特集 —



本だち 広報

編集 / 足立区企画部広報課 ●120 足立区千住一丁目4-18 ☎(82)1111 第二庁舎 ☎(89)6161

＊自分の身は自分で守る心構え＊
＊自分たちの町は自分たちの手で＊
1面 地震に備えて 総合防災訓練
2面 台風に備えて ふだんの用意を

今年、五月に日本海中部地震。七月に山陰の豪雨禍と大きな被害が続いています。地震と台風は、日本に居るかぎり、けっして警戒を怠ってはならないものといえるでしょう。

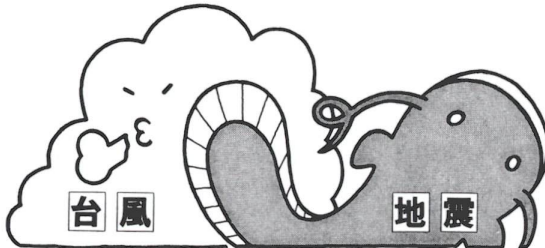
今年九月一日は、関東大震災六十周年にあたります。今年も、総合防災訓練が実施されます。

皆さんのご協力をお願いするとともに、いま一度、身のまわりを点検し、いざという時に備えましょう。



モルタルの落ちたビル＝秋田沖地震 (秋田朝新報社提供)

出水状況を見守る区職員 (昭和57年、台風18号)



日本海中部地震の教訓

今年五月の日本海中部地震についての、新聞、テレビなどの報道を聞かれて、あらためて、津波のおそろしさを思い起させられたのではないのでしょうか。地震の二次災害と言え、火災の恐れも少なからず、例によれば、六千件近くの住居被害があったにもかかわらず、一般火災が一件、タンク火災一件という信じられないような少ない件数でした。

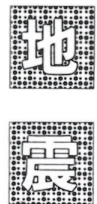
東海地震と警戒宣言

東海地震については、観測網が整備されています。地震の前兆がキャッチされ、地震防災強化地域判定会が開かれます。そこで、その前兆が大地震に結びつくか判断されると、「警戒宣言」が発表されるわけ

です。警戒宣言が発せられると同時に、区内の小学校、中学校等に設置した同報無線から一斉にサイレンが鳴り、警戒宣言が発せられたことを皆さんにお知らせすることになります。

警戒宣言が発せられたとき

① まず、あわてずに正しい情報テレビ、ラジオ、区の広報をつかみましょう。

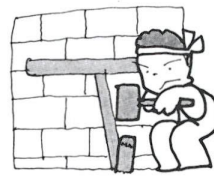


② 火はできるだけ使わない。消火器、三角バケツの置き場所を確認する。

③ 家具の転倒防止を確認する。自動車の使用を自粛する。電話の使用を自粛する。

④ 医薬品、食糧等を確認する。

- ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩



地震が起きたら!

大きな揺れでも一分以内です。あわてないで落ち着いて行動できるように、次のことに注意しましょう。



- ① すぐやく火の始末
- ② 火災による被害の拡大を最小限に食い止めることが大切です。
- ③ となり近所のたすけあい

おちついて! 地震とデマ

大地震の時には、デマや流言によるパニックが起こる可能性があります。警戒宣言が発せられた時、地震が発生した時には公共機関の正しい情報を聞いて落ちついて行動してください。また、最近テレビや雑誌などで、巨大地震についていろいろと報道されていますが、地震発生については何ヶ月も先のことは予知できないと気象庁は発表しています。



携帯ラジオと予備電池はかならずそなえておきましょう。

ふだんからとなり近所の人たちと情報のとり方、消火の方法、避難の方法などを話し合い、お互いに協力しあえる体制づくりをしておくことが大切です。

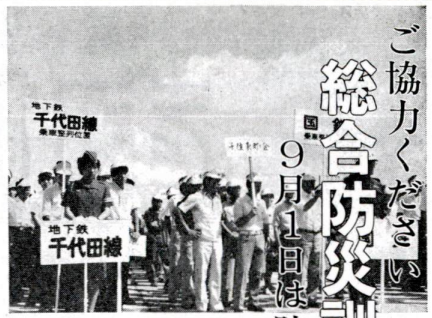
- ④ その場にあった身の安全
- ⑤ 家では
 - あわてて外に飛び出さない
 - 家の中で安全な場所に身をよせる
 - 戸や窓を開けて逃げ道を確認する
- ⑥ 街では
 - 看板、ガラスの破片などの落下物に注意する
- ⑦ 地下街では
 - つぶれることはまずないので、あわてて出入口に殺到しない
 - 電車にのついているときは
 - 背もたれ、手すり、つり皮にしっかりとつかまり、車掌の指示に従って行動する

今年9月1日は、関東大震災60周年
日頃の備えが大切です。

「いざ」という時に備えて— ふだんの用意を

いざというときに、あわてずに対処するために日頃の用意が大切です。それは、地震・台風を問いません。日頃の用意をまとめてみました。あなたも、再確認！

◎九月一日午前九時三十分、区内一斉にサイレンが鳴ります。このサイレン吹鳴は総合防災訓練の一環として東海地震の発生を予知した場合に発せられる「警戒宣言」の伝達訓練です。サイレンは四十五秒鳴り十五秒間休みます。(三回くり返す) この訓練は地震災害から区民の皆さんの生命・財産を守るために実施する大切な訓練です。ぜひ皆さんのご協力をお願いします。



ご協力ください
総合防災訓練
9月1日は防災の日
◎総合防災訓練(震災対応訓練)
区では地震被害に備え、防災機関と地域住民が一体となった総合防災訓練を実施します。ぜひ、ご参観ください。
時間 午前八時三十分～正午
会場 堀之内一丁目地先 荒川河川敷左岸(第十三出張所管内)

わが家の防災会議

人は自分の役割があつてこそ、的確な行動がとれます。日頃から家族で話し合いをし、役割分担や手順を決めておくようにしましょう。
▼家の中で、どこが一番安全か
▼電気、ガス、ストーブ等、だれがどのようにして消すか
▼消火器の点検と、使い方の練習
▼救急医薬品、非常持ち出し品の置き場所
▼持ち物は、だれが、何を持つか
▼避難場所の確認と道順
▼家族が、はなればなれになつたときの連絡方法と、おち合う場所
▼幼児や老人、病人の避難は、だれ

台風シーズンに備えて

各地で、大雨による被害が出ています。台風シーズンを迎へ、皆さんのご家庭では、大雨などに対する備えはできていますか。少なくとも、これだけのことはしておきましょう。
○停電に備えて、懐中電灯、ラジオ、トランジスタラジオ等を用意しましょう。
○飲料水、非常食、救急医薬品、雨具などを用意しましょう。
○いざという時の避難所を確認しておきましょう。
○屋根や窓の補強をしておきましょう。
○テレビ、ラジオ等の気象情報に注意しましょう。



▶給水車、水がなければ食事もつくれません。浦河沖地震(北海道新聞社提供)が、責任を持つか
▼昼間と夜間の場合の、みんなの行動を、はっきりと決めておく
▼子どもには、住所、氏名、生年月日、性別、学校名、連絡先、血液型、保護者名などを記したものを、身につけておくようにしましょう。

住まいの点検と補強

地震などの、家具やピアノが動いたり、棚などの転倒だけがをきた人が少なくありません。けがや下敷になつたりで、重要な消火活動が妨げにならないよう、右下の絵を参考に点検、補強をしてみてください。
▼アブロック扉は大丈夫ですか。基礎が不十分や、控壁のささやが

安全点検しよう
屋外広告物
台風シーズンがやってきました。広告塔、看板等の安全点検は、もう済みましたが、破損あるいは腐食している屋外広告物は、台風時の強風により落下し、おまわ事故をひ

非常持出品

震災時、無事に避難できても、元の便利な生活に戻るまでの間、自分の貯えが必要となります。あなたの家庭でも家族構成にあわせて用意しひとまめにしましょう。
▼いざというときにいちばん困るものは水です。飲料用だけでも大人一人一日三リットル必要です。水の長期保存は必ずかき、こまめに取り替えることが大切です。
▼食品、薬品の期限に注意しましょう。缶詰は一年間くらいです。

あなたも応急日用品の点検を!

(準備ができたものには○、未了のものには×を記入)

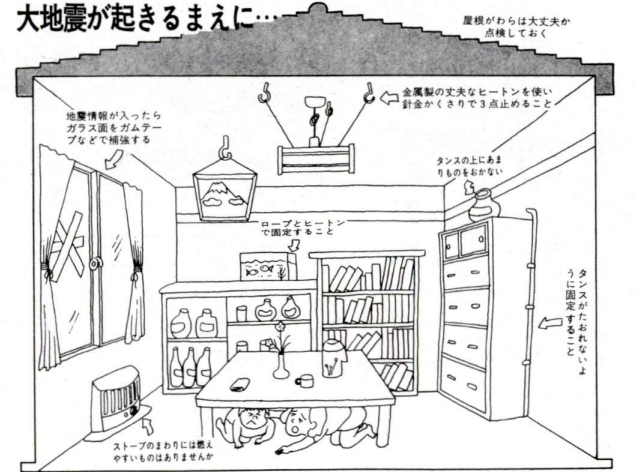
品名	点検年月日	品名	点検年月日
米		トランジスタラジオ	
粉ミルク		懐中電灯	
缶詰		マッチ	
ポリタンク		燃料	
水筒		洗面用具	
救急器具・薬品		タメ着	
現金		下靴	
預貯金通帳		衣類	
印鑑		雨具	
権利書		ヤッケ	
		手袋	
		ヘルメット	
		紙閉じ類の袋	
		リネン類	
		新しいもの	
		タオル	
		ハンカチ	
		シーツ	
		布巾	
		ベビー用品	

貸し出します 16mm防災映画

地域の防災活動普及のために、町会、自治会、その他の防災機関を対象に、左記の映画、および映写機、スクリーンの貸し出しをします。

- ▼地震と東京(一・九話)
- ▼マグニチュード七・九
- ▼災害に備えて
- ▼パニック
- ▼ルーミア地震
- ▼都市が揺れる時
- ▼宮城県沖地震
- ▼東海地震と警戒宣言
- その時東京は
- ▼関東大震災の記録
- 東京消災(縮小版)
- ▼アニメ、動物村の地震用心
- ▼火の用心
- ▼わが町、わが家、わがいのち
- ▼強いよう防災
- ▼地震(家庭)
- ▼地震(都市)

くわしくは、災害対策課へ。



◎防災についてのお問い合わせは、災害対策課へ。